



新聞発表資料

2007年 5月 10日
日本真空工業会
統計委員長 藤田英雄

日本真空工業会受注・売上統計

1. 真空機器 2007年第1四半期受注・売上統計

1) 受注状況

2007年第1四半期の全真空機器の受注高は、統計参加会社の集計で1、901億円、前四半期より2億円強の減少ではほぼ同じ額となった。前年同期比では96%。

真空装置の受注高は1、423億円で前四半期比101%、9億円増。うち輸出は811億円で前四半期比98%、18億円減。一方国内は613億円で前四半期比105%の27億円増で全体としては微増。一方、前年同期比では真空装置全体で93%、輸出が89%、国内が100%と輸出の落ち込みが大きい。

全コンポーネントの受注高は387億円で前四半期比99%、2億円減少した。うち真空ポンプは6億円、計測器5億円と増加したが、部品・材料で13億円減少。前年同期比では106%。

役務の受注高は91億円となり、前四半期比91%で9億円減少した。前年同期比では99%。

2) 売上状況

2007年第1四半期の全真空機器の売上高は、統計参加会社の集計で2035億円となり、前四半期比111%で196億円増加した。前年同期比では116%。

うち輸出が933億円、前四半期比119%で150億円増加した。輸出の地域別割合は米国19%、欧州2%弱、台湾が31%、韓国33%、中国6%。

一方、国内は1、101億円、前四半期比104%で47億円増加している。

真空装置の売上高は1535億円、前四半期比115%で198億円増加した。前年同期比では122%。うち輸出は860億円で142億円増加、国内売上高は675億円で56億円増加した。

全コンポーネントの売上高は395億円、前四半期比104%で14億円の増加。うち真空ポンプ16億円増、計測器1億円弱と増加したが、部品・材料で3億円弱減少した。前年同期比では103%。

役務の売上高は、105億円となり、前四半期に対して87%で15億円減少。前年同期比では100%。

2. 真空機器 2006年度の受注・売上統計（会計年度）

1) 会計年度受注高

2006年度全真空機器の受注高は8128億円で前年度比120%、1379億円の大幅な増加となった。うち輸出が前年度比115%、国内126%とどちらも増加。内訳では前年度比で真空装置125%、真空コンポーネント108%であった。

暦年に続き年度でも過去最高を記録した。

2) 会計年度売上高

2006年度全真空機器の売上高は7642億円で前年度比119%、受注高と同様に1197億円の大幅増加となった。うち輸出は前年度比126%、国内は113%とどちらも増加。

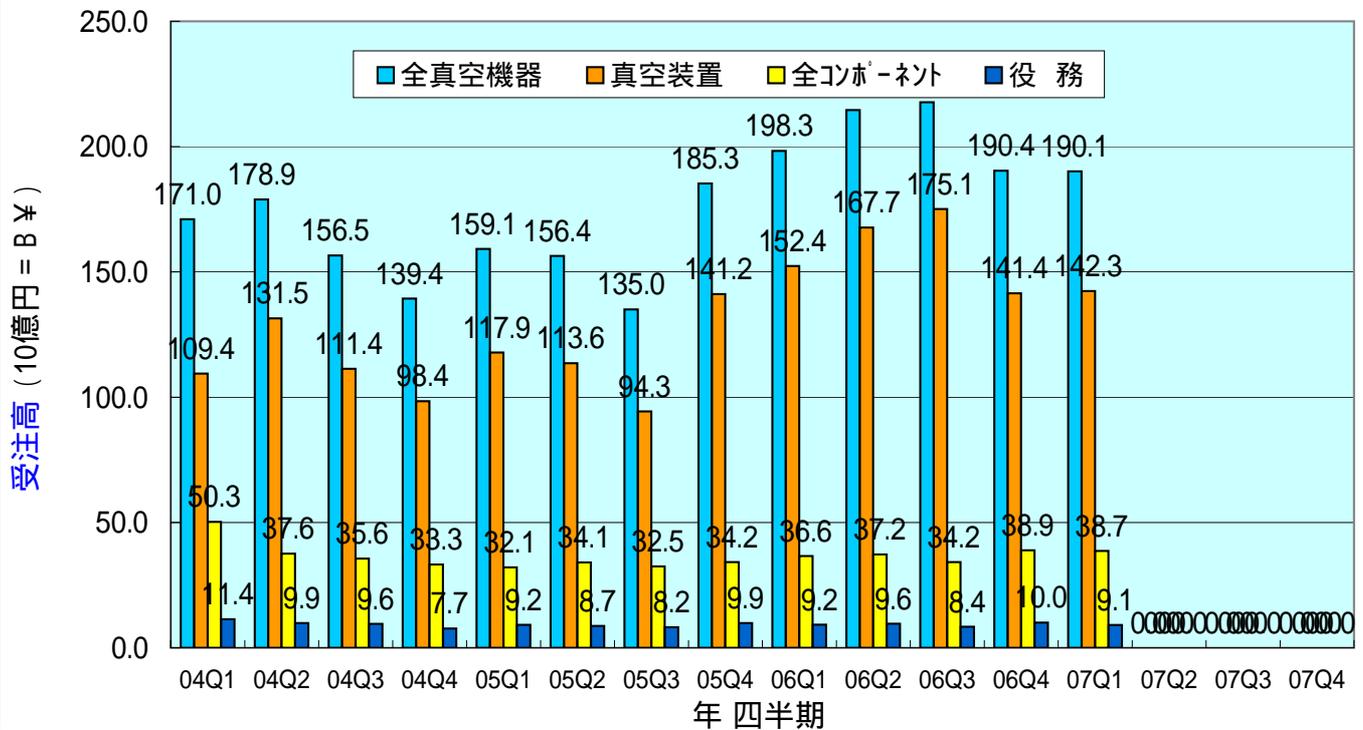
内訳では全年度比で真空装置124%、真空コンポーネントで107%であった。

売上高も受注高と同様に過去最高を記録した。

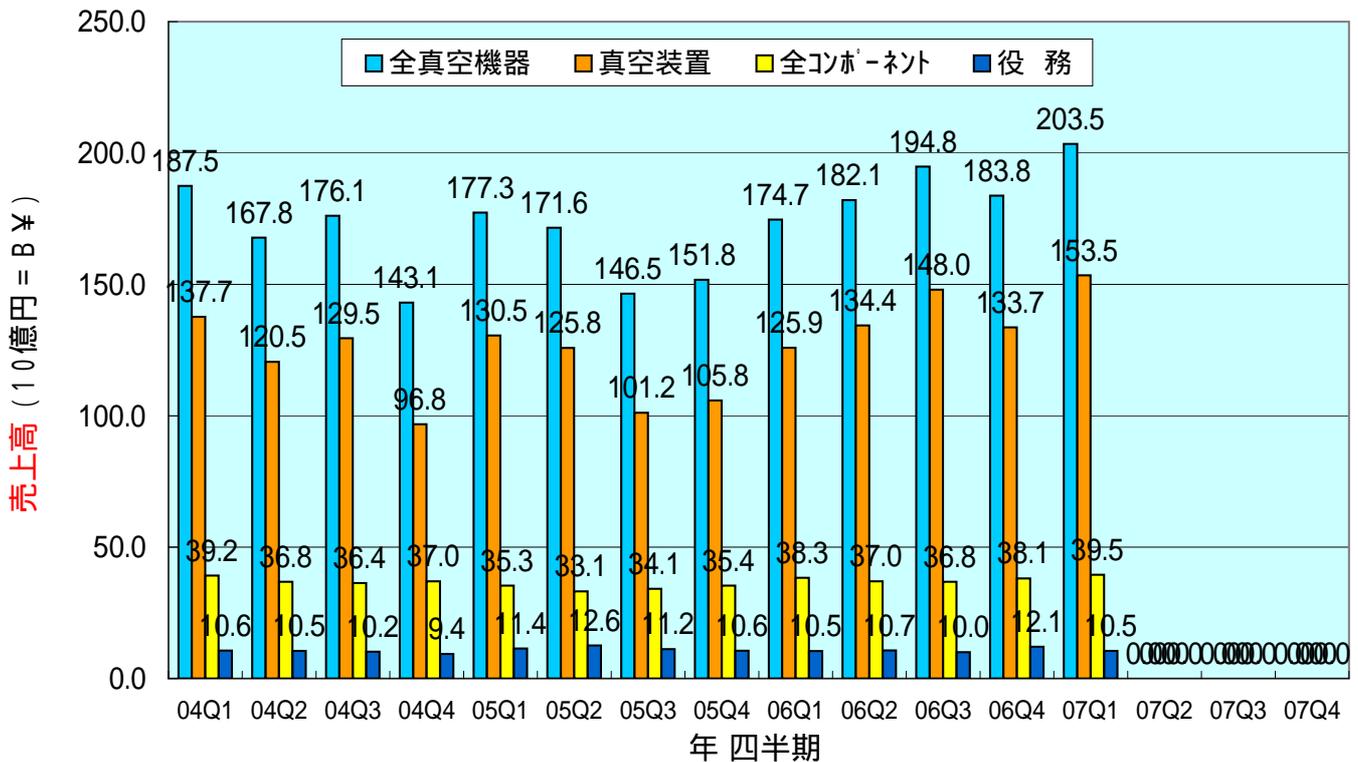
以上



JVIA真空機器受注統計(四半期毎)



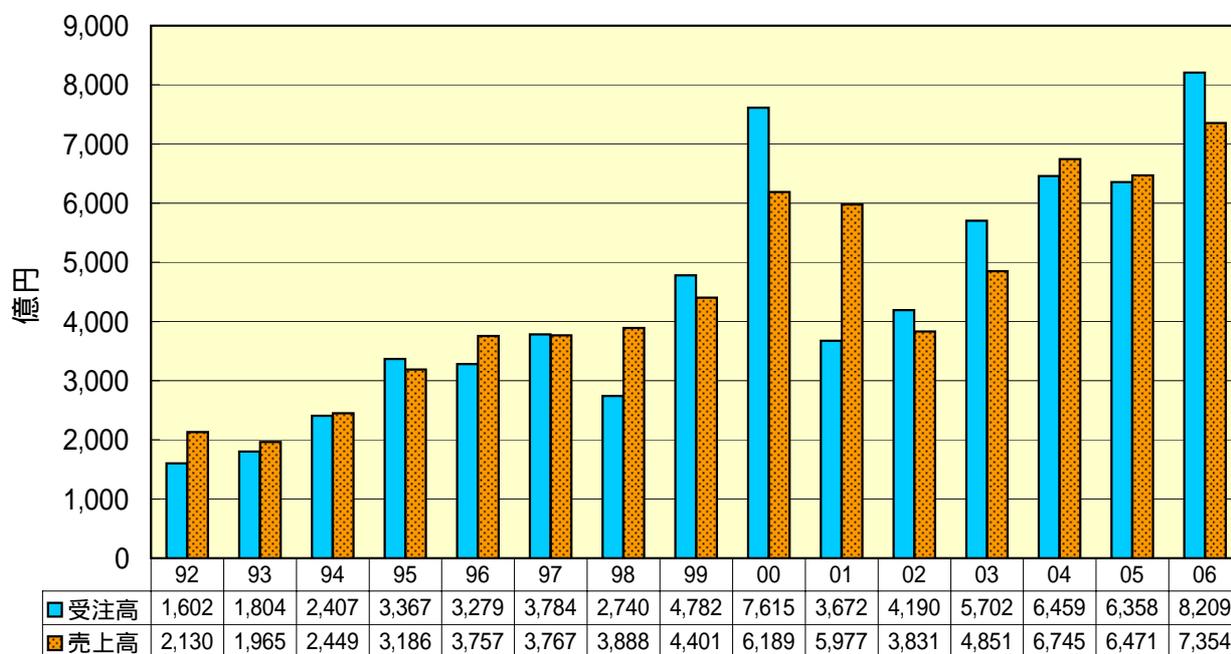
JVIA真空機器売上統計(四半期毎)





JVIA真空機器の受注・売上推移 暦年

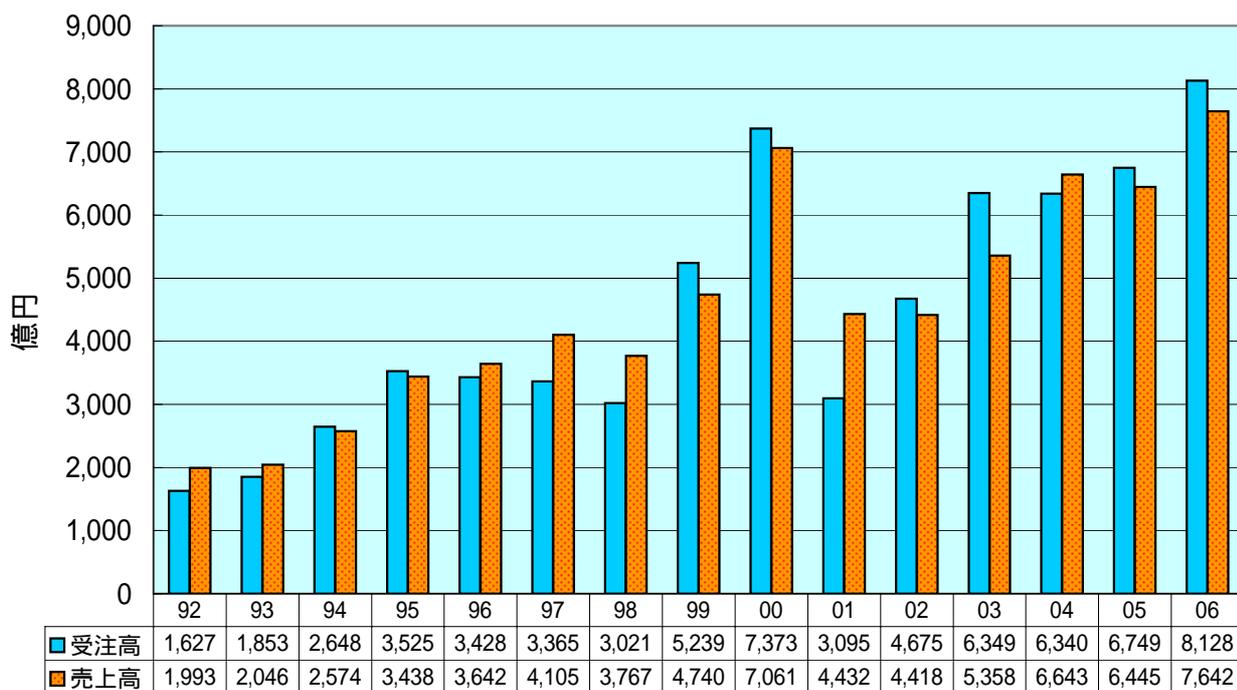
2007年2月15日



暦年 (Calendar Year)

JVIA真空機器の受注・売上推移 会計年度

2007年5月10日



年度 (Fiscal Year)